



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校

最先端の学びを日本の西端から創造する。
学びの“SHINKA”がここから始まる。

2巻/3号 2023/6/28

◆SS探究IIA（数理探究科3年生課題研究）

長崎県理数科高等学校課題研究発表大会 優秀賞受賞！

6月8日（木）に長与町民文化ホールにて標記大会が開催され、本校数理探究科3年生からは、代表2班が口頭発表の部に出場し、ともに優秀賞を受賞しました。この2班は、8月に鳥取県で開催される中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会のポスター発表部門に出場します。また、ポスター発表の部に出場した7班のうち、優秀賞を1班、優良賞を1班が受賞しました。

発表を参観した1・2年生にとっては、今後自身が行っていく課題研究への参考になる良い機会になったと思います。1・2年生も今後の研究・発表を頑張ってください！

口頭発表の部 <優 秀 賞>

「長崎県産カワヨシノボリの表現型と生殖的隔離の可能性」

太田翔、市丸智規

「ポリアの壺」モデルにおける様々な確率、およびその分布について

西川真叶、中島誠拓、中村友哉

ポスター発表の部

「大高川（玖島川）のポロロッカ」

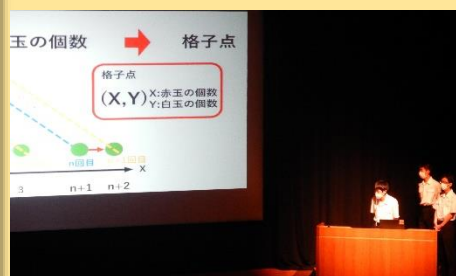
池田昂史、池田優藍、竹本いぶき、前田大雅 <優 秀 賞>

「大村湾のオキヒラシイノミガイの繁殖戦略～産卵、発生、孵化と

潮汐の関係～」 矢田樹 <優 良 賞>



太田さん、市丸さん



西川さん、中島さん、中村さん

◆SS探究IIB ～探究力向上講座～ 課題研究を充実させよう！

令和5年 5月31日（水）、「探究力向上講座」を開催しました。今年度は班編成が概ね落ち着き、各班でテーマ設定を行っているタイミングで、6講座を開設して実施しました。

この事業は、データの収集や処理・分析、テーマ設定から検証、フィールドワークの基本などについて学び、これからの課題探究を進める上で大切な知識や手法を早期に学ぶことで、これからの課題探究活動をより良いにしていくことを目的にしています。

講師の先生方は、タブレットやPCを活用されたり、生徒の今後の探究活動に生かせる資料を準備されたりして、熱のこもった講義をしておられました。今回の講座で学んだ探究の手法を、ぜひ今後の活動に生かして欲しいものです。



	講 座	講 師
1	統計データ処理講座	県統計課 戎谷 勉 氏・田崎千秋 氏
2	インタビューとデータ分析	活水女子大学 看護学部 井口悦子 氏
3	実践：課題探究の進め方	長崎西高校 長崎哲也 氏
4	SDGs文理探究 ～写真から探究へ～	長崎明誠高校 土橋敬一 氏
5	課題探究の発想の広げ方	長崎南高校 横田昌章 氏
6	フィールドワークの基本	アメリカ自然史RA 安永智秀 氏

◆SS探究PF I ～情報分析力育成講座～ データ収集やデータ分析の方法を知ろう！



6月1日（木）、8日（木）の2日間、1年生全員を対象に、活水女子大学の古賀竣也先生を講師にお招きして、情報分析力育成講座を実施しました。

この講座は、SSH第I期の反省として、課題探究のポスターの中で、データをきちんと扱えていないものが多かったため、データの収集方法や収集したデータの分析方法に関する基礎的な知識・技能の習得を目指し、探究活動の充実につなげることを目的として実施しました。1学年全生徒がタブレットを用いて、出された課題に対してFormsとExcelの操作を行いました。データ処理や活用法を学ぶ良い機会となりました。